木協通信

第92号
発行年月日
令和7年6月1日
日田市大字東有田
字新山2776-6
日田木材協同組合
TEL24-2167

Instagram
はじめました
＼Follow Me!!／

☆日田木材協同組合百年を語る

明治三十三年当時、杉２メートル板百枚の値段は九円で、明治十四年の六円に較べると大きく上昇している。

さらに、明治三十三年ごろから杉皮の利用が増え、伐採と同時に丸皮が剥がれるようになったといわれる。

九州の山奥からはるばる北海道へ日田の筏師が遠征したのは明治三十四年五月であった。

同年六月一日付の日田新報に次のような記事が見える。

「千原藤一郎氏貸付を願い受けたる北海道釧路国阿寒山より筏出す川下し人夫として去月本郡玖珠川筋より数名出発せしが去る二十八日又十名ばかり出発せし由。

川下しに使役する人夫は木曽川筋の希望多かりしも、日田の為になるべく地方の者を人選し出稼ぎをなさしめんとし、此際、伐採人夫三十名、農夫三十名本郡より募る由。」とある。

〈次号へ続く〉

※日田の「筏流し」は、今から330年ほど前、最初は竹材の運搬から始まり、筏流しは1750年頃から杉材の運搬が盛んになり、明治16年（1883年）には延べ４千の筏が組まれ、大正5年（1908年）には203人の筏乗りがいたという記録があります。

☆第76回日田木材協同組合通常総会

５月26日に日田市長椋野美智子様、日田市副市長服部浩治様をはじめご来賓の方々をお迎えするとともに、多くの組合員の皆様にご参加をいただき無事に開催することが出来ました。厚く御礼申し上げます。

今年度は、円安による物価高騰、アメリカの景気後退等から木材業界を取り巻く状況も目まぐるしく変化する中、皆様のご協力のもと概ね目標を達成することができました。

また懇親会では、多くのご来賓をお迎えし開催され、情報交換等を行うよい機会となりました。雨天により月曜日に延期となった川開き観光祭花火大会も、日田木協協賛の花火を組合員の皆さんと観覧することができました。

ＡＩに「日田木材協同組合」についてたずねてみますと、次の文章が標記されます。

日田木材協同組合は、日田杉や日田桧の生産に強みを持ち、50以上の製材所が集まり安定した木材供給を支えています。

他の地域の木材協同組合と比較すると、以下のような特徴があります。

・地域特有の木材：　日田市は高温多湿な気候と豊かな森林資源を活かし、質の高い杉や桧を生産しています。

・製材所の集積：　50以上の製材所が集まり、専門分野に特化した多彩な製品ラインナップを誇ります。

・原木市場の活発な運営：　原木市場事業を通じて、安定した丸太供給を行い、全国各地へ出荷しています。

・輸出促進：　国内消費拡大だけでなく、輸出にも力を入れており、販路拡大を進めています。

日田木協の前身である木竹商組合が組織されてから百四十三年になります。木材の流通手段も時代とともに技術革新により変遷をとげてきました。明治以降の都市化に伴う木材需要の増加、戦後復興需要を背景に日田の木材産業は発展を遂げてきました。日田市は木材の集積地としての地位を確立しています。

ネット上の情報は日々更新されます。

令和７年度事業計画では、新たな木材需要の創出等に対応し関係団体の理解を得て「日本を代表する林業・木材産業地域」を目指すことが基本事項として記載されました。

日田の地の利を生かした事業計画となっております。「地の利は人の和に如かず」という言葉もあり、これは土地の有利さよりも人々の団結の方が重要であるという意味を持っています。「一人でできないことは、みんなでやってみよう。」昔から日田は、災害に見舞われながらも、一人一人の知恵や技術を出し合って協力し、日田の豊かな森林資源を持続可能な形で活用してきた歴史があります。

林業・木材産業の人材確保・育成については、大分県立日田林工高校と地域が協力してより多くの人に学びの場を提供できるように取り組んでいます。

今後とも、日田市の主要産業である林業・木材産業の未来を担う学生たちのインターンや就職先の支援において、組合員の皆様のご協力が欠かせません。日田木材協同組合は、地域の伝統と文化の発展に貢献できるよう努めております。日頃よりご協力いただいております組合員の皆様に、心より感謝申し上げます。

☆令和７年５月『優良市』（大分県木青連協賛市）

５月26日、大分県木青連の協賛を頂き、優良市を開催いたしました。多数のご出荷、お買い上げ誠にありがとうございました。

取扱材積　：８４８㎥
平均単価　：１２，４２６円

☆第78回川開き観光祭

５月26日月曜日の第78回日田川開き観光祭の花火スポンサーとして協賛しました。

★お知らせ

○令和７年度木づかい促進事業の進捗状況について

令和７年度木づかい促進事業がスタートしました。

今年度より、リフォームは住宅に付属する施設の新設と修繕（住宅敷地内の倉庫、車庫、塀、ウッドデッキ等）が対象に加わりました。新築・改築をお考えの方はお早めにご相談ください。様式等詳細については日田市ホームページをご確認ください。

【令和７年５月30日現在の進捗状況】

新築　　１４棟（予定７５棟）
　　進捗率　１９％
リフォーム　５０棟（予定１６０棟）
　　進捗率　３１％

【申請先・お問合せ】
顔の見える日田材の家づくり等推進協議会
事務局（日田木材協同組合内）